



ハワイの中学生と交流しました！



R.L. STEVENSON MIDDLE SCHOOL
ロバート・ルイス・スティーブンソン・ミドルスクール

ハワイ州のオアフ島にある中学校。ハワイの公立中学校は、日本の小5から中1にあたる10歳から13歳の生徒が通い、制服のかわりにTシャツを着用するなど、制度が異なります。



ハワイとつながり つながる未来 オンライン交流

福智町グローバル人材育成事業の一貫で、福岡県と姉妹都市締結しているハワイ州オアフ島にある中学校とのオンライン交流が実現しました。デジタルを活用し、学びの可能性を広げます。



Check! 観光地として有名なハワイですが、多様性に富み、歴史や文化、自然、平和など、学習素材も豊富です。

【ハワイ州 DATA】
人口 ▶ 約145万人(2020年)
州都 ▶ ホノルル(オアフ島)
州花 ▶ イエローハイビスカス



1957年にハワイ福岡県人会が設立！ ハワイ福岡県人会の会長や理事と 福智町がオンライン会話

3月20日、町長室にてハワイ在住の福岡県人会のみなさんとオンラインでの顔合わせが実現。英語を交えた約1時間の交流で、現在のハワイの状況や福智町の紹介を行うとともに、今後の展望を交えて語り合いました。



↑町長や教育長、職員も練習した英語で自己紹介。

参加した生徒たちに聞いた -「ハワイオンライン交流を終えて」-



大隈 琉加さん
赤池中学校 2年

英語の授業が好きで、発表に向けてたくさん練習しました。みんなの前で英語を話すのはとても緊張しました。ハワイには家族旅行で行ったことがあり、さらに身近に感じ、深く学ぶことができました。



辻田 千尋さん
方城中学校 1年

外国の人は文化が違うから、こわいイメージがありました。実際に話してみると親しみを感じました。いつかハワイに行ってみたくて、今回聞けなかった日本人の印象などを聞いてみたいです。



辰島 充軌くん
金田義務教育学 8年

ハワイの中学生が話す英語は、いつも聞いているリスニングより早く聞き取るのが難しかったです。発表はいい経験になりました。ハワイの学校は制服がなく、Tシャツだったのがとても新鮮でした。

グローバル意識を高める
ハワイオンライン交流

時差19時間、約7000km離れたアメリカ合衆国ハワイ州にあるステイブンソン中学校と町内学校との「オンライン交流」が初開催されました。この取組はハワイグローバル教育財団とハワイ福岡県人会の協力を得て実現。多様性に富むハワイとの交流で国際理解を深め、広い視野を培うことを目的としています。

今年度は、金田義務8年生と方城中1年生、赤池中2年生の約200人が参加。事前学習では、福岡からハワイに渡った移民の歴史や文化について教養を深めました。交流当日、各学校の生徒は、日本のアニメや食べ物など約2か月かけて準備した内容を英語で説明。ハワイの生徒のプレゼンテーションを受けて「現地の英語は早くて驚いたけど、聞き取れた単語もありうれしかった」と目を輝かせました。

実施後のアンケートから「今後も海外の学校と交流したい」と答えた生徒は90%以上ののびりました。今後もこのつながりを継続し、子どもたちの未来につながる事業を企画展開していきます。

ハワイグローバル教育財団 局長 / ハワイ福岡県人会 理事 宮原 まゆみさん

ハワイとリアルタイムでつながり、生徒たちはそれぞれ感じたものがあつたのではないのでしょうか。事前学習では「ハワイの風土を感じ」、ステイブンソン中学校との交流では「国が違っても同じ中学生」と気づきがあつたと思います。

大切なのは自分の固定観念にとらわれず、いろいろな人の考えに興味を持ち、理解する努力をすること。これからも自分の心の窓をあけて、興味を持って世界を見てくださ。必ず新しい発見がそこにはあるはずですよ。

心窓を開けて、世界を見てほしい

●福岡市で育ち、30年前にハワイ州に移住。2016年にハワイグローバル教育財団を設立。通訳や翻訳、グローバル教育の講演多数。福智町とハワイの関係を構築。



Aloha!